

新型コロナウイルス感染防止対策について【再案内】

日頃より、ベルクスをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、引き続き、内食需要が高く、多くのお客様にご来店頂いております。経営理念である「食を通じ、お客様の暮らしを豊かにすること。」の重要性を強く感じております。

そのような中、お客様と従業員の安全を確保しながら、営業活動継続のために、国際的な衛生管理手法であるHACCPに精通した専門家と10年以上HACCPを学んできた対策本部のメンバーで協議を重ね、3月以降継続して行っている対策は次の通りとなります。

感染防止のためお客様・従業員共に大事なこと

1. 健康チェックすること

1日2回、検温と問診(喉の痛み、倦怠感、咳、息苦しさ)を確認し、記録をつけること。大事なことは記録することです。時系列に、記録することで、体の変化がわかります。病院受診の際にも貴重なデータとなります。最近、不顕性感染者(無症状病原体保有者)が他人に感染させる可能性があるという一部報道されていますが、潜伏期間中の感染について、エビデンスは示されていません。また、国はこれまで「症状が出るまでは人に感染することはない」という認識を示してきました。それらのことから今できることとして、**すべての弊社従業員の日々の検温と体調管理がお客様の健康を守ることと考えます。**

ここで、当社のご家族向けの健康管理表の計測と分析のポイントをご紹介します。まず、計測ですが、(1)体温計は使用前後にアルコール消毒すること。(2)体温に異常値が出た場合、再計測すること。次に、分析方法ですが、(1)37.5℃以上の熱がある場合は自宅安静。(2)37.0-37.4℃の微熱の時、①平熱との差が0.5℃以上(平熱は個人差があり、大事なことは平熱との差である)の場合 or ②問診4項目に1つでも該当する場合、①②いずれも自宅安静とする。(3)1週間以内に、37℃以上の微熱が複数発生した場合、問診に問題なくても、自宅安静とする。以上が健康チェックの活用方法です。体内に、ウイルスや細菌が侵入した場合、微熱や体調不良等、問診項目に変化が生じます。この兆候を早く把握し、体を休め、栄養を十分取り、免疫力を高めることが最も重要です。よって、従業員には、平熱の差がある微熱(例、37.0℃以上)や体の異変が生じた場合、入社させません。

お客様も、微熱や体に異変を感じた際は、免疫力が低下している恐れがありますので、ご来店(人混み)を避け、お体を休めて頂くことをお勧めいたします。

2. 店舗の感染防止対策

感染経路は大きく分け、飛沫感染と接触感染があります。行政が発信している3密は飛沫感染対策になり、消毒は接触感染対策となります。ベルクスが実施している対策は次の通りです。

- | | |
|---|-----------------|
| (1)HACCPにおけるSSOP(衛生標準作業手順)に基づく洗浄・消毒の再徹底 | (接触感染対策) |
| (2)全従業員の健康チェック | (飛沫・接触感染対策) |
| (3)お客様用入店時アルコール濃度58%の消毒液を入口に設置 | (接触感染対策) |
| (4)カゴの定期消毒実施を1日3回実施 | (接触感染対策) |
| (5)全ての無人試食提供を休止 | (接触感染対策) |
| (6)レジでの透明フィルム設置 | <密接対策> (飛沫感染対策) |
| (7)全従業員のマスク着用 | (飛沫・接触感染対策) |
| (8)全従業員の緑茶摂取→10分に1口を目安 | (接触感染対策) |
| (9)レジ待ち待機者の対面防止対策 | <密接対策> (飛沫感染対策) |

3. お客様にお願いがございます。

- (1)ご来店前に、健康チェック(検温・問診)を行い、異常がある場合はご来店を避け、体を休めてください。
- (2)ご来店の際、なるべく、マスクを着用し、2名以内のご来店をお願いします。
- (3)レジにお並びの際、なるべく、1家族1名でお願いします。
- (4)マイバック袋詰は、レジ混雑防止のため、サービス中止にご協力ください。

なお、レジ混雑時はソーシャルディスタンス(1m以上)が確保できない可能性がございますが、対面を避け、マスクを着用し、お客様同士の会話を避けることで、飛沫感染防止ができると考えておりますので、ご協力よろしく申し上げます。

